令和９年度沖縄県離島航空路確保維持計画（案）

１．地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

【目的】

本県の離島航空路のうち、宮古－多良間、那覇－与那国、那覇－久米島路線、那覇－北大東線、那覇－南大東線（計5路線）を離島航空路確保維持計画の対象路線とし、離島住民の生活を支える重要な輸送手段を確保・維持するため、離島航空路に係る地域公共交通確保維持改善事業を実施する。

【必要性】

上記路線は、各離島間を結ぶ重要な路線であり、離島住民の日常生活に欠かせない生活路線となっているほか、観光客の移動手段としても利用されている。

しかし、当該路線を運航する各航空会社においては、燃料高騰や為替、物価高の影響等により、令和9年度は、当該路線が不採算となることが予想されている。

このような状況が続くと路線維持が困難となり、島民の生活上必要な移動手段のみならず、観光産業等の地域振興にも影響を与えかねない状況となるため、路線維持のための措置を講ずる必要がある。

【補助対象路線の旅客実績及び見込】

対象路線	令和6年度（実績）			令和7年度（実績）			令和9年度（見込）		
	提供座席	旅客実績	搭乗率	提供座席	旅客実績	搭乗率	提供座席	旅客見込	搭乗率
宮古－多良間路線（RAC）	71,300	44,378	62.2%	72,800	54,080	74.3%	92,358	51,603	55.9%
那覇－与那国路線（RAC）	53,650	31,396	58.5%	72,100	40,456	56.1%	71,550	43,881	61.3%
那覇－久米島路線（RAC）	169,900	132,210	77.8%	170,550	140,129	82.2%	255,913	138,920	54.3%
那覇－久米島路線（JTA）	126,060	65,882	52.3%	127,545	69,282	54.3%	125,400	65,026	51.9%
那覇－北大東路線（RAC）	29,350	18,307	62.4%	35,100	21,185	60.4%	42,500	20,840	49.0%
那覇－南大東路線（RAC）	63,300	35,791	56.5%	68,500	38,538	56.3%	85,394	37,357	43.7%

【補助対象路線における離島住民の割合】

対象路線	令和5年度（実績）			令和6年度（実績）			令和7年度（実績）		
	旅客総数	離島住民	割合	旅客総数	離島住民	割合	旅客総数	離島住民	割合
宮古－多良間路線（RAC）	44,229	18,152	41.0%	44,378	17,281	38.9%	54,080	18,062	33.4%
那覇－与那国路線（RAC）	35,247	7,399	21.0%	31,396	8,197	26.1%	40,456	9,981	24.7%
那覇－久米島路線（RAC）	152,410	61,235	40.2%	132,210	57,126	43.2%	140,129	56,665	40.4%
那覇－久米島路線（JTA）	54,972	17,768	32.3%	65,882	22,613	34.3%	69,282	20,384	29.4%
那覇－北大東路線（RAC）	14,256	6,588	46.2%	18,307	7,065	38.6%	21,185	8,015	37.8%
那覇－南大東路線（RAC）	34,770	13,426	38.6%	35,791	14,023	39.2%	38,538	15,290	39.7%

沖縄県では、平成24年4月から、離島住民の割高な移動コストを低減し、住み慣れた島で安心して暮らし続けることができるよう定住条件の整備を図り、離島地域の活力の維持向上を図ることを目的に、離島住民等の航空運賃を約4～６割低減する「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」を実施している。

また、中・小規模離島においては、地域の活性化を図るため、特例的に観光客等の交流人口の航空運賃についても約3割低減を行っている。

【沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業適用後の離島割運賃（大人/通常期）額】

※R8年10月30日現在

対象路線	離島住民向け運賃（円）			
	従来運賃	低減後運賃	低減額	低減割合
宮古－多良間路線（RAC）	8,010	3,600	4,410	55.1%
那覇－与那国路線（RAC）	30,641	13,550	17,091	55.8%
那覇－久米島路線（RAC）	11,610	5,200	6,410	55.2%
那覇－久米島路線（JTA）	11,610	5,200	6,410	55.2%
那覇－北大東路線（RAC）	22,928	10,200	12,728	55.5%
那覇ー南大東路線（RAC）	22,928	10,200	12,728	55.5%

２．地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

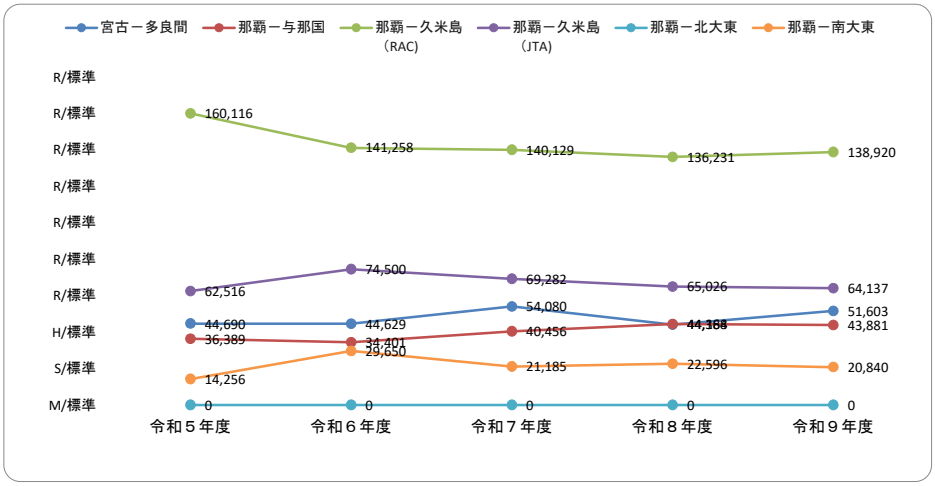
【目標】

下記の各離島路線の維持により、当該離島住民及び観光客等の移動手段を確保することとし、当該路線の輸送量等について、下記のとおり目標を設定する。

対象路線	令和９年４月１日～令和１０年３月31日				
	提供座席数（席）	運航回数（回）	旅客輸送量（人）	搭乗率	貨物輸送量（kg）
宮古－多良間路線（RAC）	92,358	1,443	51,603	55.9%	295,255
那覇－与那国路線（RAC）	71,550	1,431	43,881	61.3%	326,612
那覇－久米島路線（RAC）	255,913	3,593	138,920	54.3%	1,081,020
那覇－久米島路線（JTA）	119,295	723	64,137	53.8%	149,563
那覇－北大東路線（RAC）	42,500	706	20,840	49.0%	133,233
那覇ー南大東路線（RAC）	85,394	1,417	37,357	43.7%	285,006
合計	667,010	9,313	356,738	53.5%	2,270,689

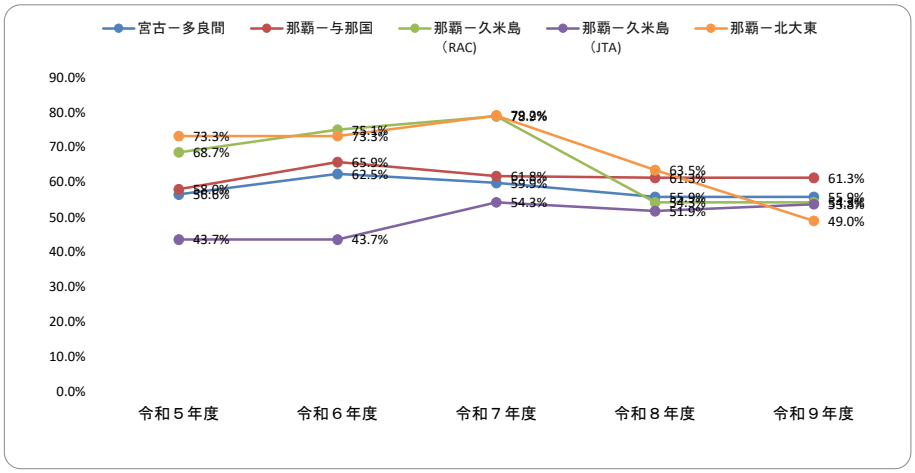
【旅客数推移（令和8年度及び令和9年度は見込み）】

単位：人



	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
宮古－多良間	44,690	44,629	54,080	44,164	51,603
那覇－与那国	36,389	34,401	40,456	44,388	43,881
那覇－久米島（RAC）	160,116	141,258	140,129	136,231	138,920
那覇－久米島（JTA）	14,256	29,650	69,282	65,026	64,137
那覇－北大東	14,256	64,250	38,538	43,762	37,357
那覇－南大東	62,516	74,500	69,282	65,026	64,137

【搭乗率推移（令和8年度及び令和9年度は見込み）】



	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
宮古－多良間	56.6%	62.5%	59.9%	55.9%	55.9%
那覇－与那国	58.0%	65.9%	61.8%	61.3%	61.3%
那覇－久米島（RAC）	68.7%	75.1%	78.9%	54.3%	54.3%
那覇－久米島（JTA）	44.1%	44.1%	54.0%	51.9%	53.8%
那覇－北大東	73.3%	79.2%	63.5%	49.0%	43.7%
那覇－南大東	59.2%	65.9%	56.7%	43.7%	53.5%

【効果】

地域公共交通確保維持改善事業を実施することにより、対象航空路が就航する離島の住民及び観光客等の足を確保し、離島住民の生活の安定や産業振興等を図ることができる。

また、運航事業者の運航により生じる損失を補填することにより、代替性のない離島航空路線が不採算により廃止されることを回避することができる。

３．地域公共交通確保維持事業により運航を確保・維持する航空路の概要及び運航予定者

対象路線	運航予定者	区間距離	便数
宮古－多良間路線	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番１号　カフーナ旭橋A街区３階 琉球エアーコミューター株式会社　代表取締役社長　山田　賢哉	86km	2往復/日
那覇－与那国	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番１号　カフーナ旭橋A街区３階 琉球エアーコミューター株式会社　代表取締役社長　山田　賢哉	597km	2往復/日
那覇ー久米島	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番１号　カフーナ旭橋A街区３階 琉球エアーコミューター株式会社　代表取締役社長　山田　賢哉	169km	4～6往復/日
	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番１号　カフーナ旭橋A街区３階 日本トランスオーシャン航空株式会社　代表取締役社長　堀尾　裕子	168km	1往復/日
那覇－北大東	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番１号　カフーナ旭橋A街区３階 琉球エアーコミューター株式会社　代表取締役社長　山田　賢哉	417km	1往復/日
那覇－南大東	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番１号　カフーナ旭橋A街区３階 琉球エアーコミューター株式会社　代表取締役社長　山田　賢哉	414km	2往復/日

４．地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者

（単位：千円）

対象路線	収益見込額	費用見込額	損益見込額	費用負担割合
宮古－多良間路線	455,961	637,112	▲ 181,151	概ね国3/6、県2/6、多良間村1/6
那覇－与那国	1,130,704	1,648,199	▲ 517,495	概ね国3/6、県2/6、与那国町1/6
那覇ー久米島	2,128,445	2,761,819	▲ 633,375	概ね国3/6、県2/6、久米島町1/6
那覇ー北大東	555,740	678,686	▲ 122,946	概ね国3/6、県2/6、北大東村1/6
那覇ー南大東	829,070	1,343,419	▲ 514,349	概ね国3/6、県2/6、南大東村1/6
計	5,099,920	7,069,236	▲ 1,969,316	

（注）国負担は、損失見込額又は標準損失額のいずれか低い額の1/2相当

（注）県、多良間村、与那国町、久米島町、北大東村、南大東村 負担は、実績損失額から国負担額を差し引いた損失額の各2/3、1/3以内

５．地域公共交通確保維持事業の改善等に関する事項

対象路線	収支改善のために採る措置
宮古－多良間 那覇ー与那国 那覇－久米島 那覇ー北大東 那覇ー南大東 （RAC/JTA）	（１）営業販売の促進･強化及び需要の開拓について ･多様化するお客さまや旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州＝那覇･沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案･実施し、沖縄本島･石垣島･宮古島に留まらず、北大東島･南大東島･多良間島･与那国島および久米島等、各離島の交流交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図ることと致します。 （２）費用の効率化 ･各種契約、取引内容において、内容･契約金額その他などの更なる検証･見直しを図り費用の効率化を図ります。 ･機体および部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図ります。 （３）需給に応じた路線便数の適正化 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期･便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期･路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図ります。 （４）その他 安全運航を大前提に、安定的かつ高品質の運航を行い、事業計画の着実な実行と達成を図ります。

６．外客来訪促進計画との整合性

現行の外客来訪促進計画は、平成30年度の改正法施行により失効。

令和２年度の観光ビジョン推進沖縄ブロック戦略会議において、法定協議会を設置し、外客来訪促進計画の策定に取り組むこととしている。